

職人

2018-9-26

MG1226

みぐめ

目次

- 1 職人とは
- 2 日本の職人の歴史
- 3 海外の職人の歴史
- 4 現代の職人
- 5 職人の課題
- 6 解決策
- 7 参考文献

1、職人とは [1][7]

•職人

（しよくにん、英語: craftsman）とは、自ら身につけた熟練した技術によって、手作業で物を作り出すことを職業とする人のことである。

2、日本の職人の歴史^{[1][7]}

- 日本では江戸時代の士農工商の「工」にあたる。
- 産業革命以前には、職人が生産活動の中心となっていた。
- 技術は主に徒弟制度によって伝承。
- 年季奉公が通例。
- 技は手取り足取り親方が弟子に教えるのではなく、簡単な作業や雑用を行う合間に盗む。

3、海外の職人の歴史^[7]

- 西洋の職人は11世紀の中世都市の成立とかかわりがある。
- 都市の発展につれて、12世紀の初め、都市にいた手工業者たちは同業組合、ツンフトZunft（ドイツ語）、ギルドg(u)ildを組織した。彼らは徒弟、職人と修業を積んでいって親方になる。
- 職人社会は18世紀にマニュファクチュアができて深刻な打撃を受け、19世紀の大規模な工業生産の出現によって追い打ちをかけられる。

4、現代の職人

- 伝統工芸、建設、工業、食分野である。
- 建築分野に於ける職人の減少は著しい。
- 名工の中にはいわゆる人間国宝に認定されたり、叙勲される者もいる。

5、課題[3][4][5]

①後継者不足

②大量生産、使い捨て社会から長く使える
良品質なものへ変化

③手間と時間がかかる

④伝統工芸が知られていない

6、解決策[3][4]

- ①マイスター制度、職業訓練校による職業化
- ②伝統工芸と現代商品のコラボレーション
(漆器×3Dプリンタ,藍染×スニーカー,津軽塗×スマホカバー)
- ③④ブランディングによる日本各地の地域財産を世界市場に「伝える」ことに注力による販路開拓

7、参考文献

[1]職人<https://ja.wikipedia.org/wiki/>,2018-5-18

[2]「日本の工芸を元気にする！」,中川政七,東洋経済新報社,2017-2-24

[3]「生き残れ！日本の職人文化-日本の鍛冶屋をフィールドワーク」,風響社,2013-5-1
1

[4]「浜の職人」,横浜市経済局雇用労働化,2015-11

[5]伝統工芸の魅力を再発見！職人の技術とテクノロジーがコラボした最新の商品事例7選
<https://ferret-plus.com/7750>,2017-7-18

[6]「日本職人」,史遠藤元男,雄山閣出版1967

[7]「都市とギルド,研究」伊藤栄,弘文堂新社-1968

[8]職人<https://kotobank.jp/word/職人-80188>